



厚生財団

KOSEIZAI DAN

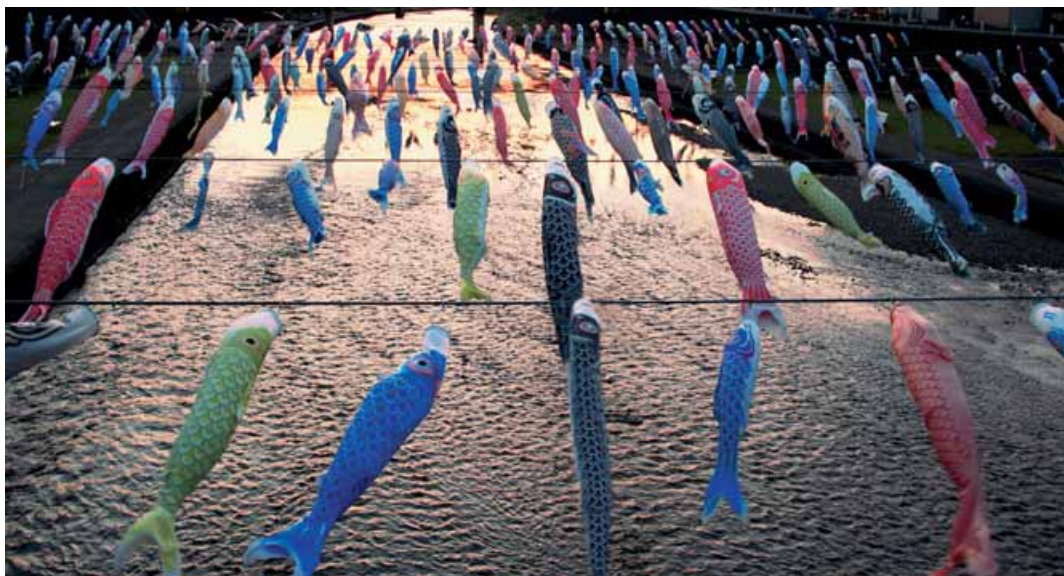
一般財団法人 新潟県教職員厚生財団 TEL 025 (228) 3581
 〒951-8516 新潟市中央区東中通1-86-73 FAX 025 (224) 8830
 (仮事務所) 〒951-8116 新潟市中央区東中通1-86-51 新潟東中通ビル5F
 U R L http://www.koseizaidan.or.jp E-mail info@koseizaidan.or.jp

TOPICS (主な内容)

- 平成27年度「新潟県民のための教育・文化活動」助成事業の報告 P.2
- 団員マイページではこんなことができます . . . P.3
- 年度末退職手続きのご案内 P.4
- 入学資金・学資金貸付のここがポイント
給料月額と積立月額報告のお願い P.5
- 新潟県歴史シリーズ P.8

新潟県の文化財シリーズ

「北越の小京都」加茂市。小京都は、古い街並みや風情が京都に似ていることから、各地に名付けられた街の愛称です。ここ加茂市では、市街地を流れる加茂川の葵橋から西宮橋までの間で、毎年、約500匹の鯉のぼりが泳ぐ勇壮な姿を楽しむことができます。平成27年の開催時期は、4月11日から5月10日まででした。「加茂川に鯉のぼりを泳がせる会」が主催しています。平成2年から鯉のぼりをあげ始め、春の風物詩として定着するまでになりました。



「夕日に泳ぐ」

■ 加茂川の鯉のぼり

写真提供 加茂市在住写真愛好家 三浦 二郎 様
 文 加茂市立加茂小学校長 佐藤 春男 様

新社屋建設・チーム財団

理事長 高 橋 信



明けましておめでとうございます。団員の皆様には新しい年を迎え、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成28年は、財団にとって「耐震性に優れ、近代的で、使い勝手の良い、開かれた社屋」をコンセプトにした新社屋が完成する年となります。

平成20年5月に実施された耐久性及び耐震診断結果を受け、社屋建設事業が始まりました。コンセプトにふさわしい社屋を建設するために、財団社屋基本事項検討委員会、理事会、評議員会などの席上で、具体的なご指導・ご支援をいただきながら、計画を進めて参りました。

昨年の12月15日から建設工事が始まり、今年の7月末には2階建の新社屋が現在地に完成する予定です。新社屋には財団マークが輝き、2階には100人を超える会議を行える大会議室ができます。間仕切りをすれば、少人数での活動も可能なスペースも確保できます。そして、財団の歴史コーナーも設置される予定です。リラックス効果と業務効率の一層の向上を目指し、社屋内に心地よいBGMを流すことも考

えています。

なお、コンセプトの一つに「開かれた社屋」を掲げていますので、新社屋完成の折には団員の皆様から活用いただければ幸いです。

ところで、今年の財団運営の合言葉は、「チーム財団」です。学校もそうですが、我が財団もチームです。一般によいチームとは、「共通目標」が確立され、「我々意識」が醸成されていることが欠かせないと言われて

います。財団の「共通目標」は、定款第3条に示された、「団員相互の生活の安定と福祉の増進及び新潟県の教育の振興に寄与する」ことです。

「我々意識」の醸成とは、役職員がそれぞれの持ち場でPDCAマネジメントサイクルを回す過程で、課題解決に向けたコミュニケーションを図りながら、共通理解に立って業務を進めることです。言い換えれば、役職員間の一体感を醸し出すことです。このことを積み重ね、団員の皆様から「厚生財団に入っていてよかった」と今まで以上に感じていただける事業運営を目指します。

団員の皆様にとって、申年が明るい年となるための一助になればという思いを胸に、役職員一同「チーム財団」で業務に精励いたします。ご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。

平成
27年度

「新潟県民のための教育・文化活動」助成事業

厚生財団では新潟県民のための教育・文化活動への支援として、県内の教育振興団体や一般の地域住民、子どもたちが参加する事業などに助成を行っています。今年度の助成事業についてお知らせいたします。



助成内訳

1. 団体助成 33団体 **970.5万円**

2. 事業助成



①普通事業助成

ア. 財団が後援又は財団支部が主催・共催・後援する事業

..... 14事業 **134万円**

イ. 伝統文化芸術・サークル活動等 99団体 **477万円**

ウ. 研究指定校・研究物発刊団体等 16団体 **112万円**

②特別事業助成 6事業 **170万円**

3. 協 賛

深めよう 絆 にいがた県民会議

平成27年度「いじめ見逃しゼロ県民運動」 **100万円**

平成27年度 助成総額 1,963.5万円

新潟県民のための教育・文化活動助成事業は、一般財団法人移行に伴って義務付けられた公益目的支出計画の対象事業として実施しています。

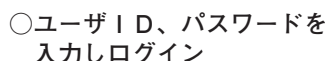
財団顧問交代のお知らせ

当財団の規定により、顧問の解職と委嘱を行いました。

・解職	逢坂 健太郎	新潟市立白山小学校長	平成27年10月26日
・委嘱	猪股 博英	新潟市立上山中学校長	平成27年10月27日

団員マイページではこんなことができます

パソコンやスマートフォンで利用できます。



- ・ 個人住所の申請やパスワードの変更はこちらから。

 団員情報	
都市コード	123
都市名	新潟市
個人コード	99001234
氏名(カナ)	ザイケン 知子
氏名(漢字)	財団 太郎
郵便番号	951-0510
個人住所	新潟市中央区 東中通1-2-3=4

個人住所申請

パスワード変更

- ・積立金残高や払込金の内訳をいつでも見ることができます。貸付金を利用した場合は貸付金残高の確認も行えるため、臨時返済をするときなどに活用いただけます。

積立月額の変更や貸付金の利用をした際は、翌月の明細に反映されます。更新日は毎月第一営業日です。

[illegible]

- ・ハガキ形式の払込残高明細書を必要とする団員は、「送付する」を選択することにより毎月郵送されます。

明細書送付設定

変更前

送付の有無	送付しない
-------	-------

変更後

送付の有無	☒ 送付する ☐ 送付しない
-------	---

確認

- ・氏名、所属、コードが反映された申請書を印刷する機能です。申請書上の金融機関の設定も行えます。
- ・借用証書は、借用金額と返済方法を入力するだけで返済月額、期限が反映されるため簡単に作成できます。

[illegible][illegible]

パスワードを忘れたときは
 厚生財団までご連絡ください。初期パスワードを再設定の上、郵送にてご連絡いたします。

重要!

年度末退職に伴う退団手続き

平成28年3月31日付で退職をされる団員の皆様は、退団の手続きが必要です。今まで積み立てられた大切な積立金をお返すための請求ですので、期限までに必ず郵送してください。

提出書類 厚生資金積立金払戻請求書 (兼継続団員申込書)

添付書類として **健康保険証 (写し)** または **運転免許証 (写し)** を必ずご用意ください。

提出期限 平成28年3月25日 (金) まで

払戻金送金日…平成28年4月28日 (木) 払戻金額の通知書は4月中旬にお届けします
送金日まで期間が空きますので、上記日程で確実に受け取ることができる口座をご指定ください。

手続きのご案内と書式の送付

1月初旬に各所属所につき1部ずつ送付いたしましたので、事務担当者様へお問い合わせください。また、団員マイページの「Web申請書」で書類を作成できます。



団員マイページについてはP3へ

厚生資金積立金の残高を確認するには？

団員マイページの「払込残高明細書」で、当月の残高及び、過去2ヵ年度分の払込履歴を確認・印刷することができます。

返済中の貸付金、契約中の生命保険や教職員年金のお支払いがある方へ

貸付金の残金について

厚生資金積立金から清算します。不足が生じた場合は4月中旬に通知が届き、退職金受領後一括でお支払いいただきます。(継続団員に入団を希望した場合でも、残金は全額清算を行います。)

生命保険・教職員年金について

継続団員に加入されない場合、三井生命普通保険は個人扱いとなり、教職員年金制度は今までに積み立てた掛金をお受取りいただきます。詳細是三井生命から連絡があります。

継続団員制度

退職後も厚生財団の団員として継続できる任意加入の制度です (申し込みは退職時のみ)

加入資格 ・ ①在団期間が25年以上 ②退職後も新潟県内に在住する (現職時に隣接県から通勤勤務をしていた場合も可) ③入団時に規定額以上の積み立てを行う

積立金 ・ 入団時に200万円以上 毎月の積み立てはなく、積立金の一部払い出しはできません。
(退団時に全額を払い戻します)

加入期限 ・ 満80歳に達した年度末まで 途中退団はいつでも可
節目年齢 (70歳、75歳、80歳) で退団した場合は慰労金を贈与

継続団員の厚生事業 ・ 普通厚生費・特別厚生費の贈与 / 人間ドックの受診料補助 (条件あり) /
生活資金の貸付 (積立金額内) …など

お知らせ

特別厚生費「永年団員祝金」

現職時の在団年数に応じて贈与します。(入団年月日が平成9年度以降の団員は現職時に贈与済みです)

退職を祝う会への招待

招待者 / 平成27年度末に退職される在団期間25年以上の方 開催時期 / 平成28年6月

毎年、参加された方々よりご好評を頂く昼餐会です。詳しくは5月に案内を差し上げますので、お誘い合わせのうえぜひご参加ください。

ご存知ですか 入学資金・学資金貸付のこと

団員本人及び団員の子が大学院・大学・専門学校・高等学校・私立中学校等に入学または在学中の資金としてご利用いただけます。



■貸付概要■

	入学資金	学資金
貸付限度額 (借入残高上限)	団員お一人につき300万円まで (口数に制限なし)	
利率	年1.20%	
返済方法	元利均等月賦返済 (ボーナス返済との併用可)	
返済回数	48、60、72、84、96、120回 (貸付金額に対して決定)	
貸付期日	随時受付送金	
申込可能期間	合格後から第1学年の間	在学中いつでも
添付書類	合格通知書の写し	在学証明書の原本

便利ポイント

- ・手続きラクラク
- 手続きは郵送で完結し、所得証明等は不要です。
- ・いつでも臨時返済可能
- 一部返済の場合、返済期間が短くなります。

申し込みについて

- ・一般資金貸付借受申込書
 - ・入学資金（学資金）借用証書
 - ・添付書類
- 以上3点を郵送にてご提出ください。
不備のないようご確認願います。

現職団員の
皆さまへ

給料月額と積立月額の報告をお願いします

給料改定が実施されるこの時期に合わせて、現職団員の皆様から1月の給料月額とそれに伴う3月からの積立月額をご報告いただいております。積立金明細書をお送りしましたので、忘れずに手続きをお願いします。

【手続きについて】

案内文書をご覧のうえ、積立金明細書に1月の給料月額と3月からの積立月額を記入して所属の厚生財団係様へご提出ください。（※積立月額が規定額を下回る場合は、自動的に規定額へ変更させていただきます。）

提出期限

厚生財団係様へ
厚生財団到着

平成28年2月 5日（金）
平成28年2月12日（金）

給料月額、積立月額に変更がない場合でもご報告いただく必要がありますのでご注意ください。

（年度末退職予定の団員、現在休職中の団員は未記入でも構いませんので、明細書をご提出ください）

平成27年度 継続団員連絡会を開催しました

～ご参加いただきました継続団員の皆様に感謝申し上げます～



●開催日／会場／参加者数

上越地区 9月 2日／ホテルハイマート／184名

中越地区 9月10日／ホテルニューオータニ長岡／368名

下越地区 9月17日／ANAクラウンプラザホテル新潟／528名

佐渡地区 10月 2日／八幡館／61名

合計 **1,141名**

昨年9月初旬から、県内4地区で「平成27年度 継続団員連絡会」を開催しました。

理事長のあいさつの中で、平成26年度決算概況や現在取り組んでいる公益目的事業の実施状況、財団社屋の新築計画などの財団の概況を説明し、各会場でご理解とご協力をお願いしました。

懇親会の時間では、ご参加いただきました継続団員の皆様に食事を楽しみながら団員同士の交流を深めていただき、好評のうちに終わることができました。

来年度も皆様お誘い合わせのうえ是非ご参加ください。

人間ドック・オプション検査の補助申請は3月末まで

受診料補助の申請期限は受診をした年度内です。お忘れの申請、これから受診をご予定の方は早めの申請をお願いします。詳細は平成27年度の受診料補助要項をご覧ください。

平成27年度受診分申請期限 平成28年3月31日

新潟県教職員年金制度 新規加入者が倍増

教職員年金制度の平成28年度の募集結果は、新規、増額ともに前年を上回る結果になりました。とりわけ新規の加入者数は116名と前年の46名から2倍を超えるお申し込みがあり、募集期間を前倒しして団員の皆様から時間をかけご検討いただけたことが大幅な増加につながりました。

新潟県歴史シリーズ「そうなんだ新潟県の歴史」 最終回のお知らせ

元新潟市立新潟小学校長 伊藤充様の新潟県歴史シリーズ「そうなんだ新潟県の歴史」は今回号にて最終回となります。また、次回号からは新潟市立浜浦小学校長 後藤一雄様による同シリーズの「資料による越佐女性の歩み」が始まります。ぜひご覧ください。

仮事務所移転のお知らせ

厚生財団は現在、社屋建替えに伴い仮事務所へ移転しています。何かとご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いします。

なお、新社屋は平成28年7月竣工予定です。

仮事務所 所在地

〒951-8116

新潟市中央区東中通 1-86-51 新潟東中通ビル 5F



- 電話番号・FAX番号は変更ありません。
- 郵便局の転送サービスを利用しますので、今までの住所や厚生財団専用封筒もご使用いただけます。

事務局から

監査法人の残高確認調査にご協力を

監査契約を結んでいる『新日本有限責任監査法人』が、今年も2月に各種残高の調査を実施します。調査対象に選ばれた方には文書が送付されますので、調査の回答にご協力をお願いします。

住所が変わったときは変更手続きを

休業・休職中の団員及び県立高校の団員の皆様は、住所変更があった場合は団員マイページから変更手続きをしてください。

2016年版 教職員手帳をお贈りしました

現職団員の方には希望登録をした手帳又はダイアリーを、継続団員の方には一律に手帳をお届けいたしましたのでご活用ください。

■各種払込金の照会をするには団員マイページ！

新潟県教職員厚生財団

検索

団員マイページにログイン後“払込残高明細書”をクリック
パスワードをお忘れの場合は厚生財団までご連絡ください。

謹 賀 新 年

あなたの安心を見守り続けたい。

BEST パートナー 三井生命

BEST パートナー
三井生命

お客さまに“安心”をお届けするコンサルティング。
お客さまへの“感謝の気持ち”と“まごころ”を込めたアフターサービス。

三井生命保険株式会社 新潟支社

〒950-0087 新潟県新潟市中央区東大通 1-3-10 三井生命ビル 6F TEL:025-243-6877

<http://www.mitsui-seimei.co.jp/>

佐渡は流刑者にとって「住みよい島」だった？

～佐渡流刑の歴史～

伊藤 充（元新潟市立新潟小学校長）

「なじみの女に逢いてえーなー」

佐渡へ修学旅行に行った小学生は、この言葉とともに「佐渡は罪人の地獄」というイメージをもって島を後にする。事実はどうだったのだろうか？

佐渡最初の流刑者は、養老6（722）年の穂積朝臣。天皇の乗物を指差して非難した罪といわれている。配所は佐渡の小倉（旧畑野町）。その2年後、朝廷は流刑地を遠流、中流、近流と分け、佐渡は伊豆、安房、常陸、隠岐と共に遠流の地とされた。流刑者は1年目、1日一人当たり米1升と塩1勺が配給される。2年目の春に田畑と種子を与えられ耕作に励む。秋には米と塩の配給は停止され、以後は自分が作った食料で生活していった。

古代の流刑者は国仲平野の周辺部に居住地を与えられ、自力で新田開発をしたと考えられている。主な流刑者は橘奈良麻呂の乱に関係したとされる安宿王、応天門の変の首謀者と目される伴善男の家臣の伴清縄などである。

佐渡の文化を育んだ中世の流刑者

中世の流刑者は注目すべき人物が多い。順徳上皇は承久の変を起こし流罪となった。配所は泉（旧金井町）の黒木御所で在島20年に及び、皇子を二人授かった。日蓮は幕府を批判した罪で流罪となった。佐渡で書いた「観心本尊抄」で、自らの思想を完成したといわれる。能を大成した世阿弥は、72歳で流罪となった。配所は万福寺（旧金井町）。島の様子を「金島書」に著し、79歳で許されたと伝えられる。この他、歌人のリーダー京極為兼などがいる。

このように中世の流刑者の配所は、古代とは違い



1221年佐渡に流された順徳上皇は、1242年佐渡の地で崩御した

国仲平野の中心部であった。和歌や能、宗教などにより大きな影響を与え、越後とは一線を画する佐渡固有の文化風土形成に貢献した人が多い。

島抜け人が少なかった佐渡島

江戸時代の流刑者は256人。5人は朝廷による流刑で、高貴な公家が多い。彼らは扶持米を配給され生活が保証された。残りの251人は幕府による遠島である。罪状は、盗み、賭博、詐欺の他、生類憐み令の違反者や不義密通者などもいた。中には小天狗五兵衛・のらねこ金兵衛などの名前も見える。彼らの生活は様々である。賭博罪の阿部小左衛門は馬術を教え、由比正雪の乱の丸橋忠弥に家を貸して罪に問われた大岡源三郎は槍術を教えた。直訴して罪となった北条道益は漢方医を営んだ。彼らは多くの弟子を指導し、人々から慕われた。特技の無い者は、相川町の間屋の人足や鉱山労働者として肉体労働に従事した。

722年以来流刑地となっていた佐渡も、元禄13（1700）年を以って、その役割を終える。

流刑者というと厳しい監視下にあったように思われるが、その生活は島の人々と同程度に自由であった。佐渡の特異性は内地から300kmの八丈島で島抜けが多いのに対し、30kmの佐渡で島抜けが極端に少なかったことである。さらに佐渡では、赦免されても故郷へ帰らず島で生活し続ける人が多かった。佐渡人の優しさと鉱山の経済力ゆえであろう。佐渡は流刑者にとって「住みよい島」だったと推測される。

それにもかかわらず、佐渡は罪人の地獄というイメージが強い。その理由は、近世中期以降、「無宿人」（罪人ではなく、飢饉により江戸に流入した人々）が金山の過酷な水替作業に従事させられ、それが流刑者と混同してイメージ化されたからである。

一度作られた歴史イメージは人を支配し続ける。

参考文献 『新潟県史』資料編4、
田中圭一・磯辺欣三『佐渡流人史』雄山閣、
龍三郎『佐渡金銀山史話』三菱金属鉱業、
山本仁・本間寅雄『定本・佐渡流人史』株式会社郷土出版社